



各 位

平成 30 年 5 月 1 日

会社名 株式会社 J E U G I A  
代表者名 代表取締役社長  
兼 社長執行役員営業本部長 西村 昌史  
(コード番号：9826 東証第二部)  
問合せ先 取締役  
兼 執行役員経営管理部長 山根 篤  
(TEL 075-255-1566)

### 通期業績予想と実績値との差異及び減損損失の計上に関するお知らせ

平成29年10月31日に公表した平成30年3月期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において減損損失を特別損失として計上することを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,530	80	70	30	36 円 47 銭
今回実績 (B)	7,504	54	57	△16	△19 円 81 銭
増減額 (B-A)	△26	△26	△13	△46	—
増減率 (%)	△0.3	△32.5	△18.6	—	—
(ご参考) 平成 29 年 3 月期実績	7,644	96	88	30	37 円 19 銭

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

#### 2. 差異の理由

平成 30 年 3 月期通期の業績につきましては、教室事業は堅調に推移しましたが、楽器を中心に商品販売が低迷したことで、費用効率化の徹底に取り組んだものの、一部商品の売上総利益率低下が想定以上に影響し、営業利益、経常利益は前回予想を下回りました。また、減損損失を特別損失に計上したことで、親会社株主に帰属する当期純利益は、損失となりました。

なお、配当予想は当初の 30 円に変更はございません。

#### 3. 減損損失の内容

主に当社子会社である十字屋 Culture(株)が保有する固定資産(建物、器具備品等)について、投資の回収可能性を勘案し、減損損失 60 百万円を特別損失に計上いたしました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上